

協会けんぽ新潟支部

ジェネリック医薬品の使用状況

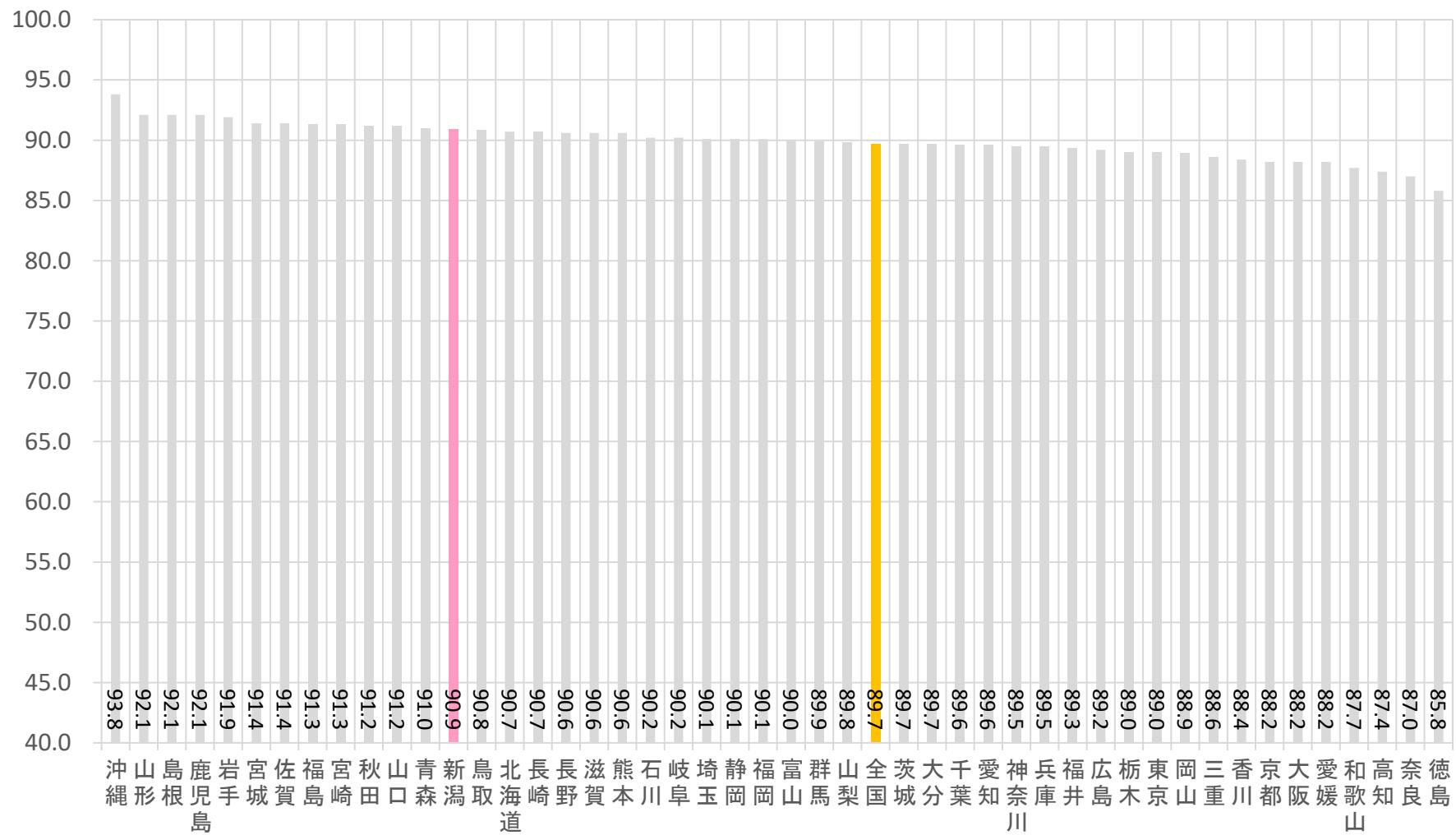
令和7年8月診療分

概要		
	新潟	全国
使用割合(数量ベース)	90.9%	89.7%
前年同期差	+4.1%	+4.7%
全国比	+1.2%	—
全国順位	13位	—

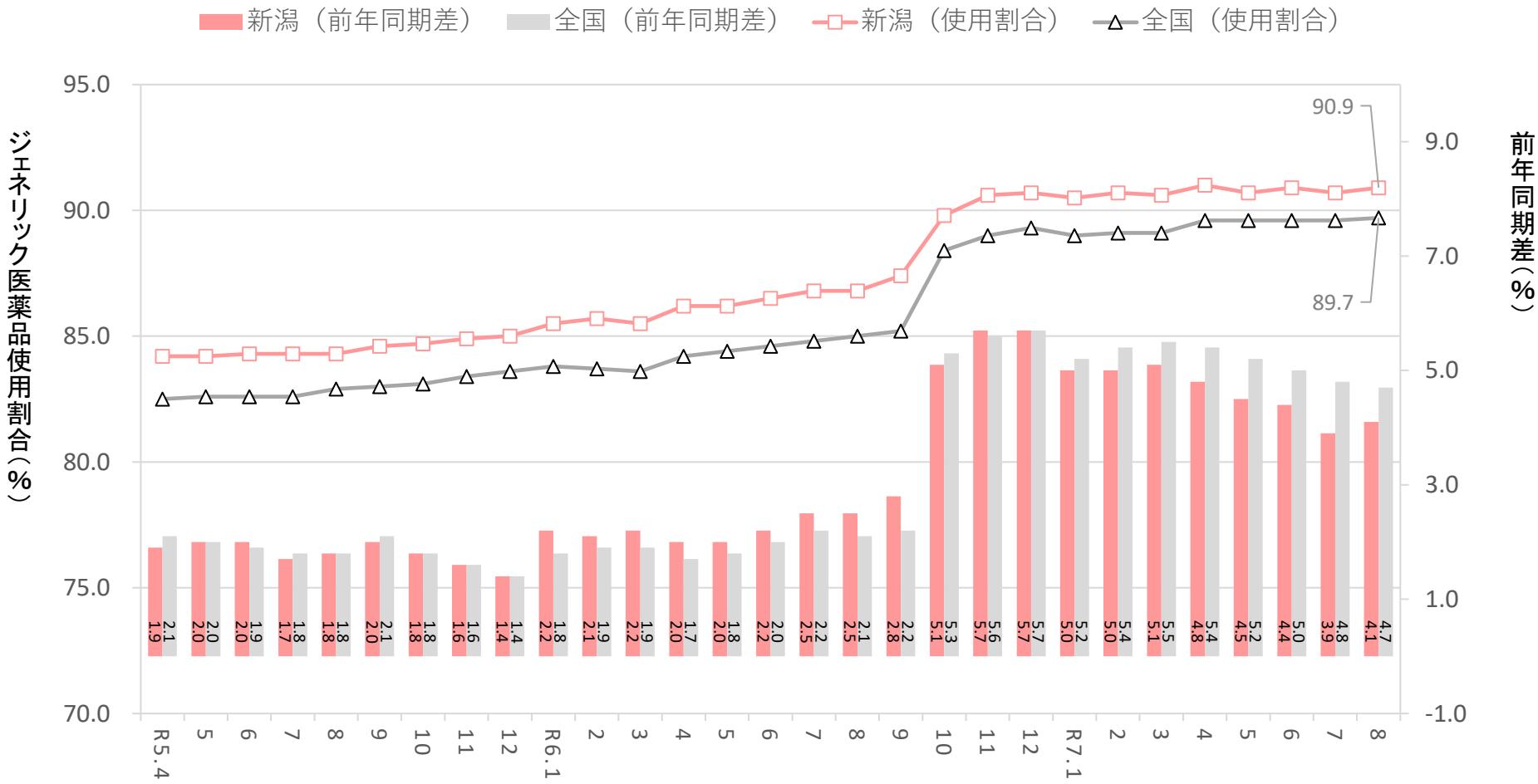
●データの留意事項

- 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)
なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。
- 加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。
- 「数量」は、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
- 【[後発医薬品の数量]／([後発医薬品のある先発医薬品の数量]＋[後発医薬品の数量])】で算出している。
医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
- 後発医薬品の収載月には、後発医薬品が初めて収載される先発医薬品があると、算出式の分母の対象となる先発医薬品が増えることにより、後発医薬品使用割合が低くなることがある。

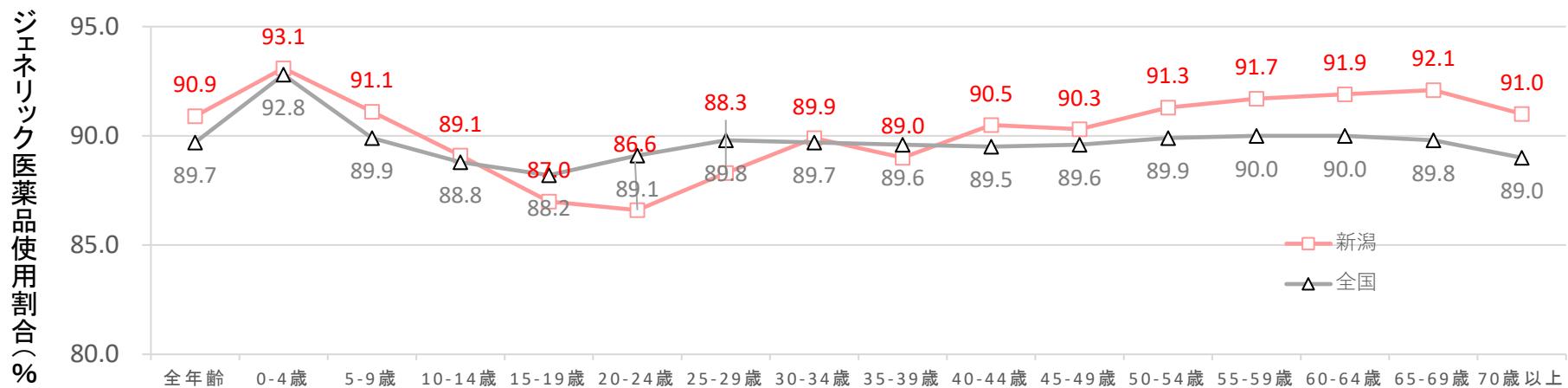
令和7年8月診療分 支部別ジェネリック医薬品使用割合



新潟支部ジェネリック医薬品使用割合推移



年齢階級別/新潟支部ジェネリック医薬品使用割合

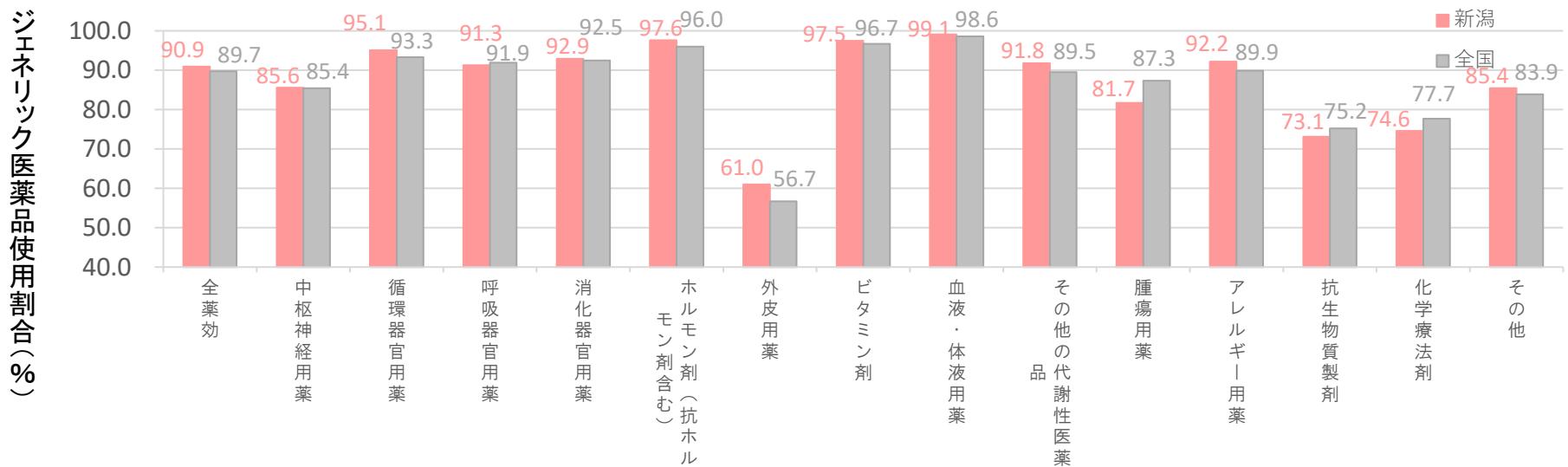


【参考】[ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量]+[ジェネリック医薬品の数量]の年齢階級別の割合構成

単位: %

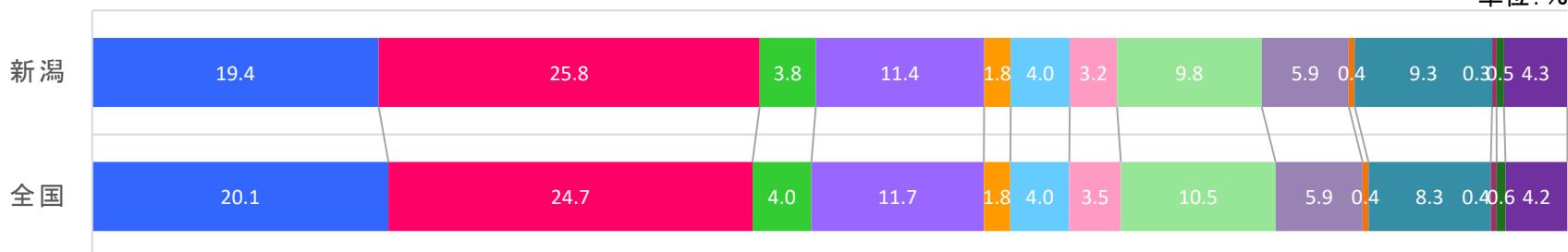


主な薬効別/新潟支部ジェネリック医薬品使用割合



【参考】[ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量]+[ジェネリック医薬品の数量]の主な薬効別の割合構成

単位: %

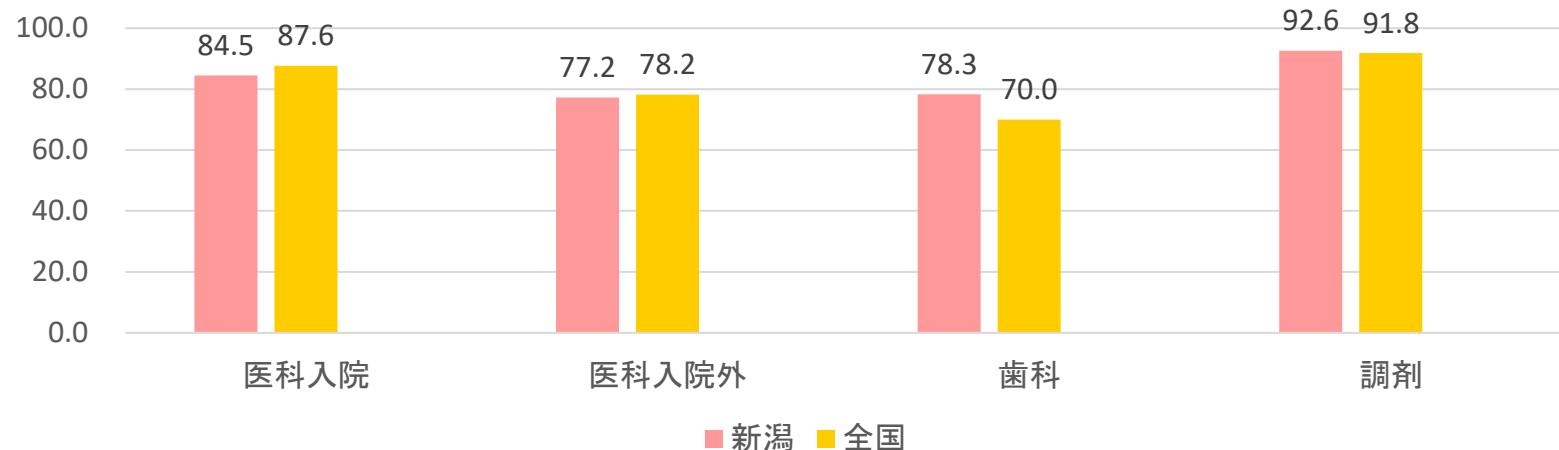


- 中枢神経用薬
- 循環器官用薬
- 呼吸器官用薬
- 消化器官用薬
- 血液・体液用薬
- アレルギー用薬
- 抗生物質製剤
- 化学療法剤
- その他の代謝性医薬品
- 腫瘍用薬
- ホルモン剤(抗ホルモン剤含む)
- 外皮用薬
- その他の代謝性医薬品
- 化学療法剤

- 中枢神経用薬
- 循環器官用薬
- 呼吸器官用薬
- 消化器官用薬
- 血液・体液用薬
- アレルギー用薬
- 抗生物質製剤
- 化学療法剤
- その他の代謝性医薬品
- 腫瘍用薬
- ホルモン剤(抗ホルモン剤含む)
- 外皮用薬
- その他の代謝性医薬品
- 化学療法剤

診療種別/新潟支部ジェネリック医薬品使用割合

ジェネリック医薬品使用割合(%)



【参考】[ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量]+[ジェネリック医薬品の数量]の診療種別の割合構成

単位: %

